

私たちが失ったもの

フィンランドの国に素晴らしい王様がいましたが、跡継ぎの王子がいませんでした。そこで、お嬢さんを王にするため勇気ある青年を20名選びました。二次の試験で、「天と地を、隣の人を連結する木を持ってきなさい。」とその青年たちに伝えました。その中の一人が田舎の教会に入り祈りました。懇切な祈りをしたあと、教会を出たら木で作った十字架がありました。王様のその木はこの十字架であるとわかり、王様の前に持っていくことができました。天の父母様と連結すれば、知恵と能力得ることができま

す。真の父母様の十字架は厳しい道でした。食口たちの行く道は壁を崩して一つになる道です。そして愛がここにはあります。嵐のような時でもこの内容を分かっているので生き残ってここに來ることができのです。高校1年の時に真の父母様に会いました。水曜の夜に行ったら墮落論の講義で、とても心に響き教会に通うことになりました。ただ入会願書を書くのには1年かかりました。そしてお父様を分かるようになったのは、祝福の時でした。出会うことと分かることは違うのです。

お母様は草創期の精神に戻りなさいとおっしゃいます。草創期は耳パンを食べていながらいつも笑顔でした。なぜそうだったのか、それは天の摂理の中心であるという自覚がどんな苦勞しても喜びで受けることができたのです。今は尊いものを忘れています。一人の生命を大切にしたいので、一人が来ればお祝いしてあげることに、それが時間と共に人を大事にするよりも組織で管理するようになってしまいました。暖かさが覚めてしまい、感謝までも失ってしまいました。心と体が一つになるには、感謝の心が必要です。感謝は信仰の栄養素です。本心が喜ぶ教会、感謝する教会、発展する教会、それをこの浦和から作っていき

たいのです。そのために第一に日記を書きましょう。感謝を最低3つ書くようにしましょう。第二は氏族の名簿を持って祈禱すること。第三にその氏族を4月21日に招待しましょう。氏族を招待して基元節祝賀フェスティバルをやってみましょう。そうすることにより皆様の家庭に感謝と喜びが共に



本教会の礼拝に初めて参加された方を心から歓迎いたします
神様と真の御父母様の祝福が共にありますよう。お祈り致します

- 1、お誕生日を迎えた食口の皆様、おめでとうございます。
- 2、2013年伝道勝利のための50日路程が始まります。
路程スローガン「新氏族メシヤ活動の定着と爆発的伝道の出発！」
期間：2013年3月24日(日)～5月12日(日)(50日間)
- 3、東埼玉教区の発展と天一国実体化の為の40日精誠祈禱会を実施しています。
期間：2013年3月7日(木)～2013年4月16日(火) 午後5時
対象：浦和教会食口
場所：浦和教会
- 4、東埼玉教区出発式を4/3(水)に行いました
越谷教会で第一部セミナー、第二部食事会、第三部ユンノ大会を行いました。
- 5、バラの会を行います
4/9(火) 10:00開場 10:30開会
場所：ラフレさいたま 4階(けやき)の間
- 6、第54回 真の父母の日
4月10日(水) 午後7時30分から行います。
壮年の皆様、御家族ぐるみでご参加お願いいたします。



- 7、東埼玉教区壮年部集會を行います
4/14(日) 15:00 場所：浦和教会
- 8、東埼玉伝道三日路程
期間：4/16(火)～18(木)
- 9、基元節祝賀フェスティバル
4/21(日) 13:00 場所：埼玉会館
- 10、横田浩一事務総長基調講演
平成25年4月21日(日) 開場19:00 開演19:30
場所：鈴谷公民館 2F 大会議室
(さいたま市中央区鈴谷7-5-11)
資料代：300円

【年頭標語】

天地人真の父母勝利解放完成時代

天地人真の父母勝利解放完成時代



浦和教会

Holy Spirit Association For Unification
of World Christianity Urawa Church
世界基督教統一神靈協會

教区長：李炯燮 牧師

さいたま市南区南浦和1丁目23-12
Tel : 048-886-8774 / Fax : 048-886-8797
E-mail: uc.urawa@gmail.com

式次第



執礼者：李炯燮教区長

司会者：田川 敏教育部長

開 会	司会者
黙 禱	全 体
※開会讃頌 天一国の歌	全 体
※敬 拝	全 体
※家庭盟誓	全 体
代表祈禱	奥平弘子
讃 頌	聖歌隊
み言訓読	全 体
説 教	私の基元節	
※讃 頌 聖歌 11 番	全 体
※祝 禱	教区長
※全体祈禱	全 体
教会音信	司会者
閉 会	司会者

～お願い～ ※印のある項目は、全員起立して進行いたします

『 生めよ、殖えよ、地に満ちよ 』

今週のみ言

歴史上、後にも先にもないこのときを迎えて、最も祝福された幸福なときであることは間違いありません。しかし、皆さんが責任を果たさなければ、最も悲惨になります。なぜでしょうか。皆さんが伝道できずに逝った70億の人類が、皆さんを譏訴するからです。「なぜおまえたちだけ祝福を受けて楽しみ、私たちには教えてくれなかったのか？」と。地の果てにいる人類が食口となってこのみ旨を知った時、どれほど待ち望んだか分からない再臨主、メシヤ、救世主が来られているのに、一度もお父様のお顔を地上で拝見できなかったことに対する恨(ハン)があることでしょう。それが分かりますか？そのように、真の家庭や祝福家庭には大きな責任と蕩滅があることを知らなければなりません。

きょう、元旦を迎え、「神の日(天の父母様の日)」を迎えて、私たちが天の父母様として本当に敬愛しながら高くお迎えしてさしあげなければなりません。そして、万民に、血の果てまでこのみ言を伝播しなければなりません。聖書にもあるでしょう。み言と鉄の杖をもって何をすると言ったのですか？万国を治めなければなりません。それはどういうことでしょうか？伝道しなければならぬということです。分かりますか？

— 第46回「天の父母の日」のみ言 —



統一運動

金元弼先生 聖和3周年追慕礼拝を開催

天曆2月24日(陽曆4月4日)に本部教会の礼拝堂において、「祝福家庭長兄 天情奉身者」金元弼先生の聖和3周年追慕礼拝が行われました。

文鮮明師の第一弟子であり、3家庭の長として、36家庭の祝福を受けられた金元弼先生は、韓国・統一教会初代理事長(1963年)、日本・全国祝福家庭総連合会総会長(1991年～94年)、ノルウェー国家的メシヤ(1996年～)などを歴任。統一教会の草創期から文師のそばで教会の発展に尽力され、2010年4月7日(陽曆)に聖和されました(享年81)。

み言拝読に続いて、周藤副会長が説教を行い、「金元弼先生が(私達の)一番のお兄さんとして歩んでくださった道とは何だったのでしょうか？」と問いかけながら、家庭を教会化する「ホームチャーチ」運動の開拓者であった金元弼先生について証し、参加者に「民族的メシヤ」の重要性を強調しました。全体で献花を捧げた後は、金元弼先生が生前に好きだった「千の風になって」を讃美。周藤副会長が祝禱し、全体で記念撮影をして閉会となりました。

